

令和元年台風第19号に係る栃木県災害廃棄物処理方針

R1(2019).11.20 環境森林部廃棄物対策課

令和元年台風第19号の被害に伴い、栃木県内で多量かつ大量の災害廃棄物が発生していることから、早期の復旧・復興の実現に向け、県内の災害廃棄物の処理が適正かつ円滑・迅速に行われるよう必要な事項を定める。

1 基本方針

- 処理対象 令和元年台風第19号により発生した災害廃棄物
- 処理主体 市町(廃棄物処理法第4条第1項)
- 発生推計量 約10万トン
- 処理期間 発災後1年間での処理完了を目指す

○ 処理方法

- ・ 分別の徹底、可能な限り再資源化・減量化を行い、最終処分量を低減
- ・ 県内での処理を基本
- ・ 県内処理施設での処理が困難な場合、県外広域処理を実施

2 実施方針

○災害廃棄物の発生推計量(令和元(2019)年11月15日時点)【単位:トン】

市町	発生推計量	市町	発生推計量
宇都宮市	4,140	さくら市	1,000
足利市	7,500	那須烏山市	5,369
栃木市	21,500	下野市	2,060
佐野市	48,526	上三川町	161
鹿沼市	10,503	茂木町	800
日光市	41	壬生町	80
小山市	630	塩谷町	18
真岡市	40	那須町	303
大田原市	50	那珂川町	2
矢板市	40	計	102,764

○役割分担

市町	栃木県
<p><u>災害廃棄物の処理主体</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○被害の把握 ○関係機関への協力・支援要請 ○災害廃棄物の処理 ○仮置場の設置・運営 ○住民への広報・啓発 ○情報の収集 等 	<p><u>市町の支援、関係機関との連絡・調整</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○県内市町等、他都道府県、国、民間事業者等と連携した支援・協力の調整 ○市町への技術的支援 ○県内の災害廃棄物処理の進捗管理 ○情報の収集・提供 等

○処理フロー



○処理スケジュール

項目	令和元年(2019年)			令和2年(2020年)										
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
被災現場からの回収	➡													
仮置場の管理・運営 処理施設等への搬出	➡ 身近な仮置場			➡ その他の仮置場										
	搬出後、順次仮置場撤去・原形復旧													
処分(再利用、焼却等)	➡													

- ・ 災害廃棄物の処理の進捗管理のため、定期的に処理状況・仮置場状況等を把握